

名 称	令和元年度 第 1 回 目黒区障害者自立支援協議会本会
日 時	令和元年 6 月 2 1 日（金）午後 6 時～午後 8 時 3 0 分
会 場	目黒区総合庁舎 大会議室
会 議 次 第	1 委嘱状の交付、委員の紹介並びに会長及び副会長の選任 2 専門部会からの報告 3 区からの報告 （1）第 1 回医療的ケア児支援関係機関協議会（報告） （2）精神障害者地域移行・定着連携会議（報告） （3）障害者差別解消支援地域協議会（報告） （4）基幹相談支援センター設置検討委員会（報告） （5）地域生活支援拠点（報告） （6）障害者計画（報告） （7）発達障害支援拠点（報告） （8）「目黒区特別支援教育推進計画」改定の進め方について 4 その他 今年度の予定など
出席者	北本副会長、松尾委員、阿部委員、山田委員、松原委員、白鳥委員、 河手委員、中島委員、田岡委員、武井委員、橘委員、酒井委員、篠 崎委員、保坂委員 欠席 岩崎会長、町田委員、野村委員、徳永委員、重盛委員、田島 委員
配 布 資 料	資料 1 地域自立支援協議会設置要綱 資料 2－1 専門部会報告（一般就労部会） 資料 2－2 専門部会報告（子ども部会） 別紙 在宅で医療的ケアを必要とする障害児等に対するアンケート 調査結果報告 資料 2－3 専門部会報告（相談支援部会） 資料 2－4 専門部会報告（施設就労部会） 資料 2－5 専門部会報告（高齢化・グループホーム対策部会） 資料 3－1 令和元年度第 1 回医療的ケア児支援関係機関協議会次第 資料 3－2 平成 30 年度医療的ケア児支援関係機関協議会活動 資料 3－3 「在宅で医療的ケアを必要とする障害児等に関する講演会」 次第 資料 3－4 令和元年度医療的ケア児支援関係協議会日程 資料 4－1 令和元年度 第 1 回目黒区精神障害者地域移行・地域定着推 進連絡会 次第

	<p>資料 4－2 目黒区精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会設置要綱</p> <p>資料 4－3 平成 30 年度 目黒区精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会 活動報告</p> <p>資料 4－4 令和元年度 目黒区精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会 日程(予定)</p> <p>資料 4－5 住み慣れた地域で自分らしい生活を送るために～地域移行支援ガイド～</p> <p>資料 5－1 第 1 回目黒区障害者差別解消支援地域協議会 次第</p> <p>資料 5－2 ゲストトーク「ファッションデザイナーになる 1 日。」</p> <p>資料 5－3 区からの報告について</p> <p>資料 5－4 めぐろの障がい者アート展の開催にむけて</p> <p>資料 6 平成 30 年度 地域生活支援拠点 相談実績</p> <p>資料 7 障害者計画改定に伴うアンケートに関するご意見への対応方針について</p> <p>別紙 障害者計画改定に伴うアンケートに関するご意見への対応方針</p> <p>資料 8 平成 30 年度ぼると事業実績</p> <p>資料 9 「目黒区特別支援教育推進計画」改定の進め方について</p> <p>資料 10 令和元年度自立支援協議会予定表(案)</p> <p>&lt;参考資料&gt;</p> <p>参考資料 1 自立支援協議会名簿</p> <p>参考資料 2 自立支援協議会委員席次表</p>
会 議 の 報 告	<p>1 委嘱状の交付、委員の紹介並びに会長及び副会長の選任 資料 1 及び参考資料 1 参照 令和元年、令和 2 年度委員に対して委嘱状の交付を行った。 併せて会長及び副会長の選任を行い、下記のとおり決定した。 会長：岩崎 香（早稲田大学人間科学学術院） 副会長：北本 佳子（昭和女子大学人間社会学部）</p> <p>2 専門部会からの報告 ・一般就労部会 資料 2－1 参照 今年度は事例を中心にして行う。 施設就労部会と合同して行っていく予定。 事例について共有できる内容ならば本会もしくは運営会議で報告する。</p> <p>・子ども部会 資料 2－2 及び別紙参照</p>

	<p>6月18日に障害福祉課長から障害者計画についての説明が行われた。相談支援部会、施設就労部会と合同で開催。</p> <p>医療的ケア児コーディネーターの位置づけについて、区としての回答が欲しい。</p> <p>→現状3名であるが、不足していると認識している。人数を増やしていく方針である。</p> <p>・相談支援部会 資料2-3参照</p> <p>5月に事例検討会を行った。巡回入浴ができるようになっているが、うまくサービスを利用できない家庭もある事例。福祉のサービス事業所以外で行った例がある。</p> <p>・施設就労部会 資料2-4参照</p> <p>障害者計画についての説明。食品表示改正の取り組み。特色ある活動事例の学習。</p> <p>昨年度は相談支援部会、一般就労部会と合同の部会を開催し有意義だったので、今年度も行いたい。</p> <p>障害者施設を職業体験の場として活用してはとの案が出た。</p> <p>・高齢化・グループホーム対策部会 資料2-5参照</p> <p>今年度から運営会議を適宜行う。</p> <p>「西部地区主任ケアマネ連絡会との合同事例学習会」(仮)の開催を検討している。</p> <p>・意思疎通支援部会</p> <p>6月に第1回部会を開催。日常生活で困っていることについて課題を抽出。またユニバーサルデザインについて情報交換を行った。</p> <p>・防災部会</p> <p>夜間の防災訓練を行う。</p> <p>3 区からの報告</p> <p>(1) 第1回医療的ケア児支援関係機関協議会(報告)</p> <p>資料3-1から3-4参照</p> <p>昨年度の活動報告を行った。</p> <p>令和2年7月2日から心身障害者センターを活用して医療的ケア児の通</p>
--	---

	<p>所事業を行う。</p> <p>(2) 精神障害者地域移行・定着連携会議（報告） 資料4－1から4－5参照</p> <p>(3) 障害者差別解消支援地域協議会（報告） 資料5－1から5－4参照</p> <p>(4) 基幹相談支援センター設置検討委員会（報告） 障害者と高齢者の複合施設、基幹相談支援センターについて設置検討委員会を昨年度から設置している。全体会とコアメンバー会議を中心に仕様書を具体的にまとめていく。</p> <p>(5) 地域生活支援拠点（報告） 資料6参照</p> <p>(6) 障害者計画（報告） 資料7及び別紙参照。 計画作成のスケジュールについて。計画作成にあたっては協議会から意見を収集している。7月下旬頃に各専門部会長宛てに意見の依頼を行い、10月上旬に締め切り、第2回本会（10月25日開催）で回答を確認し、第3回本会（令和2年1月31日開催）で意見をまとめて区に提出する。</p> <p>(7) 発達障害支援拠点（報告） 資料8参照</p> <p>(8) 「目黒区特別支援教育推進計画」改定の進め方について 資料9参照</p> <p>4 その他 今年度の予定など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の予定 資料10参照</li> </ul> <p>第2回本会を令和元年10月25日（金）、第3回本会を令和2年1月31日（金）に開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田岡委員から権利擁護センター「めぐろ」についての説明が行われた。</li> </ul>
--	---

	<p>・イベントについて</p> <p>6月20日開催のイベント部会についての報告を行った。従来のイベントでは幹事への負担が大きかったため、負担軽減をはかり既存のお祭り等のイベントに自立支援協議会として参加する形が議論された。</p> <p>これに対し区の意見として、自立支援協議会という会議体が行為の主体として参加するのは難しい。目黒区が主催もしくは共催である場合にはできる可能性はあるが、実施主体の名称としてはあくまで「目黒区」であり自立支援協議会の名前で参加することはやはり難しいと回答した。</p> <p>外部のイベントの参加が難しいということで、独自に案を立てて再びイベント部会で話し合うこととした。</p>
--	---